株式会社ヨータイの事業適応計画のポイント

令和６年１月１２日

- 当社では、生産工程効率化等設備として、３０００ｔクラスの大型高圧プレス機、１５００ｔクラスの大型高圧プレス機、太陽光発電設備をそれぞれ導入します。
- これにより、耐火物等の製造に伴って排出されるCO_2を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

１．事業適応計画の実施期間

２０２２年３月～２０２４年３月

２．生産性向上目標

炭素生産性を１１．７％向上させる。

３．前向きな取組の内容

生産工程効率化等設備として、日生工場に３０００ｔクラスの大型高圧プレス機と太陽光発電設備、吉永工場に１５００ｔクラスの大型高圧プレス機、瑞浪工場に太陽光発電設備をそれぞれ導入することにより、炭素生産性を１１．７％向上させる。

４．支援措置

税制措置（CN投資促進税制）

大型高圧プレス機導入例（既設の大型高圧プレス機）

太陽光発電設備導入例
（太陽光発電設備　貝塚工場　2021年度設置）